

東北の 高校生の 富士登山

NOBOROU!
Nippon Ichi no
FUJISAN he!
2011-
TM

東北の若い世代のために
今、私たちができること



趣 意

東日本大震災後、復興応援の一環として、東北の高校生のための富士山登山を続けて参りました。2019年夏で8回目を終え、これまでに、福島県を中心とした東北の高校生のべ679人（2019年8月現在）が参加しました。

本プロジェクトの呼びかけ人・田部井淳子（福島県三春町出身）は、生前、「富士登山に参加し、自然体験を積んだ東北の若者たちが1000人にもなれば、どこにいたとしても、それはやがて東北復興の大きな力になるはずだ」と語っておりました。その遺志を引き継ぎ、現在は一般社団法人田部井淳子基金（代表理事・田部井進也）の活動として、本プロジェクトを続けています。第8回目となった2019年は、福島県のほか、岩手県、宮城県の全39校から総勢104人の東北の高校生が参加しました。

さまざまな高校から集まった高校生たちが、富士山という一つの目標に向かって助け合い、協力し合いながら頂をめざします。高校生の参加費は、お小遣いでも参加できるよう1人3000円とし、それ以上にかかるものについては、個人や企業等の皆様のご寄付、ご協賛、助成などによって運営しております。福島県を中心とした東北の復興にはまだまだ長い時間を要します。

「東北の高校生の富士登山」を通じて、次なる東北を支える若者たちを共に応援しませんか？

一般社団法人田部井淳子基金
東北の高校生の富士登山事務局

高校生たちが登山後に書いた俳句・川柳

「富士登山 力を合わせて 無事登頂」

「コツコツと 小さな歩み 夢となる」

「物事は やって見ないと 分からない」

「疲れたな ああ 疲れたな 楽しいな」

「足いたい でも景色は それ以上」

「あの日見た 仲間と景色 忘れない」

「頂上の 景色は一生の 宝もの」

「暗い中 励まし合った 富士登山」

「初登頂 した瞬間は 涙うる」

「富士登山 令和の思い出 できたどー」

ご寄付頂ける場合は郵便局に備え付けの払込取扱票（青字のほう）に下記をご記入のうえ、送金ください。

口座記号番号 00170-9-418320 加入者名 東北の高校生の富士登山事務局

恐れ入りますが、振り込み手数料はご負担ください。